

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（6月末現在）

平成30年9月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

1 調査の趣旨

いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため

2 調査対象校 《計1637校》

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校

- ・小学校835校（義務教育学校前期課程含む）
- ・中学校483校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む）
- ・高等学校254校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く）
- ・特別支援学校65校

3 調査対象期間

平成30年4月～6月

◆ 調査の結果

調査対象期間中に各学校が認知したいじめの件数（4月より前に発生した事案のうち、新たに認知したものを含む）及び対応状況

	認知したいじめの件数 (注1)	対応状況			
		解消しているもの	解消に向けて取組中のもの		その他
			類型1(注2)	類型2(注3)	
平成30年度 第1回 (4月～6月)	6349 (20)	18 (0.3%)	6274 (98.8%)	57 (0.9%)	0 (0.0%)
小学校	4916 (7)	7 (0.1%)	4889 (99.5%)	20 (0.4%)	0 (0.0%)
中学校	993 (5)	4 (0.4%)	965 (97.2%)	24 (2.4%)	0 (0.0%)
高等学校	387 (1)	1 (0.3%)	376 (97.2%)	10 (2.6%)	0 (0.0%)
特別支援	53 (7)	6 (11.3%)	44 (83.0%)	3 (5.7%)	0 (0.0%)

(注1) ()内の数字は、4月より前に発生した事案の数を内数で示したもの

(注2) 被害児童生徒に対する心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）継続していないもの

(注3) 被害児童生徒に対する心理的、物理的行為が止んでいない又は、被害児童生徒に対する心理的、物理的行為が止んでおり、その状態が相当の期間（3か月程度）継続しているが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの

◆ 前年度及び前々年度同期の調査結果

	認知したいじめの件数	対応状況			
		解消しているもの	解消に向けて取組中のもの		その他
			類型1(注2)	類型2(注3)	
平成29年度 第1回 (4月～6月)	2346	0 (0.0%)	2280 (97.2%)	66 (2.8%)	0 (0.0%)
小学校	1592	0 (0.0%)	1549 (97.3%)	43 (2.7%)	0 (0.0%)
中学校	532	0 (0.0%)	523 (98.3%)	9 (1.7%)	0 (0.0%)
高等学校	204	0 (0.0%)	195 (95.6%)	9 (4.4%)	0 (0.0%)
特別支援	18	0 (0.0%)	13 (72.2%)	5 (27.8%)	0 (0.0%)

	認知したいじめの件数	対応状況			
		解消しているもの	一定の解消が図られたが、継続支援中のもの	解消に向けて取組中のもの	その他
小学校	854	787 (92.2%)	19 (2.2%)	48 (5.6%)	0 (0.0%)
中学校	467	436 (93.4%)	5 (1.1%)	26 (5.6%)	0 (0.0%)
高等学校	209	188 (90.0%)	9 (4.3%)	12 (5.7%)	0 (0.0%)
特別支援	12	11 (91.7%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)